

# 洛窓会 東京支部活動状況

令和元年度 10月26日

令和元年度 東京支部代表幹事

三井化学株式会社 内藤 清嗣 (53回卒)

## 令和元年度 東京支部総会報告

### 1. 開催状況

日時：2019年7月9日(火)

第一部 総会・講演会 16:00~17:50

第二部 懇親会 18:00~20:00

場所：三井化学(株) 本社4階

(東京都港区東新橋1-5-2

汐留シティセンター)

出席者数：総会 79名、懇親会 80名、延べ 80名

京都からご出席頂いた以下の先生方を含む。

河瀬 元明 京都大学教授

佐野 紀彰 京都大学教授

外輪 健一郎 京都大学教授



総会の様子

### 2. 第一部 総会

#### 1) 講演会

講演1 「放送開始65年 テレビ業界の最新事情

～ネットとの競合から共生へ～」

讀賣テレビ放送(株) 常務取締役

原 俊一郎 様

テレビ業界の最新事情と変遷について、4つのテーマに沿って説明頂いた。

近年、インターネットの普及により、情報伝達の手法や形態が大きく様変わりしている。第1に広告価値の変化がある。テレビや雑誌の広告費の低下に対して、インターネットは成長を続けており、広告価値が高まっている。第2に、動画配信サービスの激化がある。NetflixやDAZNといった有料動画配信サービスは増加の一途をたどり、あらゆる年代で視聴者が増えている。第3にテレビ番組のインターネット同時配信が挙げられる。NHKはオリンピック中継に合わせて放送法の改正を申請しており、同時配信を画策している。最後にサイバー取材が挙げられる。SNSを活用し、災害などの迅速な情報伝達が可能となっており、各局が活用している。



テレビは長きにわたって情報媒体の主役であったが、インターネットの普及でその形態は大きく変化しており、今後、インターネットを活用した報道・放送へ変遷していく可能性がある。これからの情報・メディアのありかたについて考えさせられるご講演であった。

## 講演2「燃料電池の反応工学」

京都大学大学院工学研究科 化学工学専攻  
河瀬 元明 教授

電気化学の分野へ反応工学のモデリング手法を応用し、燃料電池の反応解析が行われた研究について、ご講演頂いた。電池反応は、通常反応工学で取り扱われる化学反応と違い、反応速度が電位に依存するという特徴がある。そのため、反応速度定数に電位ポテンシャルを組み込む、モデル式でプロトン移動を考慮するなど特殊な取り扱いが必要となる。必然的にパラメータが多くなるという問題があったが、触媒有効係数の要領で、新たに無次元数を開発することでこの問題を解決され、精度の高い解析を実現された。同時に、系内の温度分布の測定、境界移動抵抗をなくした系で反応速度解析など、実験面でも現象の解明・解析を進められており、本分野でのより一層のご活躍が期待される。

今まで化学工学が応用されていなかった分野に、新たな視点で切り込まれた非常に興味深いご講演であった。



## 2) 京都大学と化学工学教室の近況

京都大学大学院工学研究科 化学工学専攻  
佐野 紀彰 教授

京都大学の近況と、これからの歩みについてご講演を頂いた。3年後に創立125周年を迎える京大は、「京大力、新輝点」をスローガンに掲げ、自由な発想や「機転」など「京大力」を活かし、新たな「起点」を作っていく。その1つとして、少子化、国際化など大きく変動する社会に対応するために、新たな取り組みを進めている。「Kyoto iUP」は留学生のリクルートを支援するプログラムであり、大学に優秀な人材を集め教育し、社会に排出することで高度な頭脳循環を目指している。

また、指定大学法人に選ばれ、医学や化学といった得意な分野の研究を促進させていくとともに、国際的な競争力を高めていくよう尽力していく旨を述べられた。化学工学専攻でも「Chem-E-Car」を授業に取り入れ、化学工学を実践的に学ぶ新たな取り組みを行っている。参加したコンテストでは、見事優勝を果たすという、大変喜ばしい結果を紹介された。



### 3. 第二部 懇親会

#### 1) 挨拶および乾杯

東京支部副支部長・(株)神戸製鋼所  
専務執行役員 森崎 計人 様

#### 2) 各人の自己紹介

#### 3) 代表幹事会社挨拶 藤吉 建二

#### 4) 次年度代表幹事会社挨拶 両角 文明 様

東京支部副支部長・(株)神戸製鋼所の森崎様のご挨拶と乾杯のご発声で開会した。今回も世代間交流促進を目的に懇親会の最初の 20 分間程度を自己紹介タイムとし、指定の各テーブルで自己紹介をして頂いた。しばらく歓談の後、幹事会社代表として、三井化学(株)の藤吉顧問の挨拶の後、次年度の代表幹事の住友化学(株)の両角様よりご挨拶を頂いた。最後は、恒例の琵琶湖周航の歌を合唱し、お開きとした。

### 4. 総評

総会、懇親会で幅広い年代の参加者の中、前回並みの延べ80名の方にご参加頂き、盛会の内に終えることができた。

運営面では、総会、懇親会いずれも三井化学本社内の施設を使用し、代表幹事会社内の関東地区若手・中堅会員と設営、案内、受付業務などの事前準備、進行を行った結果、無事に終えることができた。

### 5. 会計報告

総会、懇親会会場に代表幹事会社本社内の施設を活用し会場費を抑えることで、懇親会費を前回同様低く設定することができた。今後も支部総会が盛会となるよう、種々工夫しながら運営していきたい。

### 6. 最後に

支部総会開催にあたり、遠路ご参加を賜りました河瀬先生、佐野先生、外輪先生に心よりお礼を申し上げます。また、支部総会開催には松坂先生ならびに本部庶務・会計・名簿幹事の谷口先生・田辺先生・金先生、支部幹事会社代表の方々には多大なご助力・アドバイスを頂戴しました。感謝いたします。

以上



副支部長 森崎氏



三井化学 藤吉氏



住友化学 両角氏



各テーブルでの自己紹介の様子



懇親会の様子



琵琶湖周航の歌を合唱